



### 「外来でお迎えするにあたって」

当院の外来には老年症候群外来と物忘れ外来の2つの専門外来があります。

様々な心身機能の低下が生じ、複数の疾患を併せ持つ老年症候群。進行すると日々の行動や社会生活が困難になる認知症や軽度認知障害。当院では、経験豊富な専門医による診療が行われ、日々の生活での不安なことや悩み事など、何でもお話いただき、患者さんの満足度の高い診療が行われています。

私たち看護師も患者さん・ご家族の面談を行い、外来に来られる患者さんの困りごとやご家族の負担になっている事が一つでも軽減できるよう、また、住み慣れた場所で安寧に暮らしていけるよう、「その人らしくに寄り添い、その人らしくを支える看護」をモットーに多職種チームでの支援に取り組んでいます。



(看護部 外来主任 谷)

### もの忘れ外来

もの忘れ外来は、認知機能の低下や物忘れに関する専門的な診療を行う外来です。加齢による軽度の記憶障害から、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症など、さまざまな認知症の症状に対応します。専門医が詳細な検査を実施し、早期の段階で異常を発見して適切な治療方針を提案します。さらに、家族へのサポートにも力を入れており、介護方法や今後の生活における具体的な対策についてもアドバイスを提供します。記憶力の低下や認知機能の変化に不安を感じた場合は、早めに受診することが重要です。

(高齢者総合診療科 部長 和田健二)

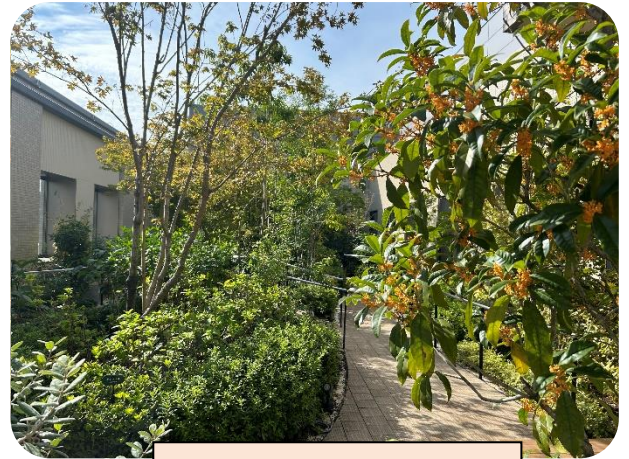
園芸療法で育てた秋ナス



## 老年症候群外来

老年症候群とは放置すると生活の質（QOL）やADLを阻害する、高齢者に多くみられる一連の症候であり、加齢に伴う生理的・病的・社会的な機能低下（フレイル）を背景に複数の疾患が関与しています。高齢者総合機能評価（CGA）を軸に高齢者特有の問題点を明らかにし、老年科医を中心とした多職種チーム（看護師、心理士、栄養士、健康運動指導士など）で介入し、介護予防のみならず一つ前の良い状態に戻すことを目的とした外来を行っています。また多剤併用（ポリファーマシー）に対してもできる限り対応しています。栄養状態や身体機能低下度によっては、回復を目的とした入院加療の対応も行っています。

（高齢者総合診療科 部長 杉本 研）



キンモクセイと屋上庭園

## フレイルセンターのご案内

フレイルセンターでは実費で健康運動指導を実施しています。利用をご希望される方は下記の流れにて利用することができます。

- 電話でご予約頂くか、高齢者総合診療外来で主治医にお問い合わせ下さい。
- 一度も受診がない方は事前に受診（火～金曜日の午前中）をお願いしています。  
（別途保険診療で費用がかかります）。
- 受診の際、健康診断結果やお薬手帳などの体の調子がわかる物をご持参下さい。
- 状態が分からない場合、血液検査などを実施する場合があります。
- 附属病院（倉敷）の体操教室に参加されている方は受診不要です。
- 当日は動きやすい服装でお越し下さい（下履き可）

●お問い合わせ先は患者診療支援センター TEL086-201-5280



学校法人川崎学園 川崎医科大学高齢者医療センター  
患者診療支援センター  
〒700-0821 岡山市北区中山下二丁目1番80号  
TEL **086-201-5280**（患者診療支援センター直通）  
FAX 086-225-2051

受付時間

平日 8:30～11:30  
13:30～16:00  
土曜日 8:30～11:30